
活動の概要

2015 年度にシステム系の契約更新のため、ネットワーク等のシステム関係の機器やサービス等の調整等を実施した。また、スマートフォン・タブレット端末の福祉分野での活用研究会を開催したり、名工大の先生らと共同研究等を行った。

学内での活動

1 情報学基礎の担当

情報学基礎を安藤先生、小林孝浩先生らとともに担当した。授業ではヒト型ロボット Pepper を使って大垣市内にある三城保育園の園児らとのワークショップの検討・実施を試みた。

日時：2016 年 5 月 9 日（月）～5 月 31 日（火）まで

■実施場所

大垣市立三城保育園

2 システム委員会

学内ネットワークや、学内サービス等のシステムに関する業務や、ネットワーク保守業者等との定例会などに関わった。特に今年度で PC などの契約満了に伴う、次期リースなどについての検討も行ってきた。また、IAMAS 2017（期間 2/23～2/26）のネットワーク環境も新ネットワークに対応して利用できるように環境を整備するなど、ソフトピアジャパンの指定管理者・学生らと共と連携して行った。

3 新ネットワークの運用・調整などについて

本学のネットワークの運用が 2016 年度から新たにはじまり、学術認証フェデレーション・eduroam への参加の他、ネットワーク環境構築後の不具合対応や利用方法の調整を業者らと検討し実施した。

4 学長適任者選挙管理委員会の副委員長

学長適任者選挙管理委員会の副委員長として学長適任者選挙に関わった。

2016 年 11 月 4 日～2017 年 1 月 12 日

学内外での活動

1 スマートフォン・タブレット端末を福祉分野での活用研究会（座長）

岐阜県内の学校、岐阜本巣特別支援学校、郡上特別支援学校、恵那特別支援学校、羽島特別支援学校（2016 年度開校）の 4 校と岐阜県教育委員会、情報技術研究所、公益財団法人ソフトピアジャパンやその周辺の組織、NPO 法人バーチャルメディア工房ぎふ、日本福祉大学等で構成する研究会の運営をしてきた。今年度も特別支援学校の喫茶サービス実習でタブレット端末やその他の ICT 機器を活用した効果的な使用方法について検討・構築し、教育効果等に関してさまざまな議論を行った。これらの活動は平成 28 年度文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業（特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の支援に関する実践研究）」の一環として実施し

た。

2 日本職業リハビリテーション学会にて就労支援を目的としたタブレット端末アプリ等について発表

研究会で取り扱ったアプリの内容や効果などを日本職業リハビリテーション学会第 44 回京都大会にて発表をした。

会期：2016 年 8 月 26 日（金）～27 日（土）

発表：2016 年 8 月 27 日（土）

タイトル：特別支援学校におけるタブレット端末等の ICT 機器を活用した職業体験学習の取り組み

場所：立命館大学 衣笠キャンパス 以学館

3 岐阜希望が丘特別支援学校で出前講義を行った。

岐阜希望が丘特別支援学校からの依頼により「ICT を活用したものづくり」の出前授業を実施した。

実施日：2016 年 10 月 28 日（金）

4 「パナソニック研究財団平成 28 年度特別研究指定校」による実践研究の研究者として参加

岐阜県立郡上特別支援学校が道の駅にて行っている生徒たちの出前喫茶についてこれまで実施したことからアドバイス等を行った。

日時：2016 年 11 月 11 日（金）、2017 年 3 月 3 日（金）

場所：古今伝授の里道の駅やまとギャラリー

5 公立大学協会情報部会に参加

公立大学協会情報部会（会長校：秋田県立大学）に参加した。

日時：2016 年 11 月 18 日（金）

場所：秋田ビューホテル

6 岐阜市近郊情報ネットワーク懇談会にて口頭発表

IAMAS でのネットワーク環境を岐阜市近郊情報ネットワーク懇談会のメンバーに向けて紹介をした。

タイトル：データセンターを利用したできるだけ大学に依存しない学内環境の構築

日時：2016 年 12 月 2 日（金）

場所：岐阜女子大学文化情報研究センター

7 ATAC カンファレンス 2016 京都で発表

上記の研究会で実施してきた、特別支援学校向けの喫茶接客を支援するタブレット端末アプリを中心にその他の機器や実践事例をポスター形式で紹介した。

タイトル：「職業体験学習におけるタブレット端末等を活用した方法の提案」

日時：2016 年 12 月 10 日（土）



図 1 ATAC2016 での展示の様子

場所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）

- 8 日本リハビリテーション連携科学学会第 18 回大会にて今年度の内容を発表した。

タイトル：他職種連携によるタブレット端末を活用した職業体験学習支援の取り組み

会期：2017 年 3 月 18 日（土）～19 日（日）

発表：2017 年 3 月 18 日（土）

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

- 9 Good Job! Center KASHIBA で行われたワークショップに参加

就労支援施設である Good Job! Center にてデジタルアプリケーションなどを組み合わせた新しい環境をどのように作り出すかというワークショップに参加した。

期間：2017 年 3 月 27 日、3 月 28 日

- 10 「障がい児・者のタブレット活用セミナー」で発表

平成 28 年度文部科学省委託事業 特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携に関する実践研究「特別支援学校の喫茶サービスにおけるタブレット端末を利用したシステムの活用」の成果を実践研究報告として口頭発表した。同時にデモ体験できる時間も設けた。

タイトル：特別支援学校の喫茶サービスにおけるタブレット端末を利用したシステムの活用法

日時：2017 年 3 月 29 日（水）

場所：ソフトピアジャパン 10F 会議室 1

- 11 感性情報等を扱った研究（共同研究）

名古屋工業大学 中村先生、中京大学 加納先生らと共にロボットにおける感情をどのように捉えるか、ロボットと人間が共生するためのキーとなる感性情報や接触等についての共同研究を行った。

学外での教育活動

- 1 大垣市総合計画審議会の委員として参加

大垣市が策定する大垣市未来ビジョンに基本構想（平成 30 年度から平成 59 年度までの 30 年間の構想）等の策定に関わった。

- 2 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。

発表論文など

- [1] 山田晃嗣、渡辺崇史：「特別支援学校におけるタブレット端末等の ICT 機器を活用した職業体験学習の取り組み」日本職業リハビリテーション学会第 44 回京都大会プログラム・抄録集、pp86-87, Aug. 2016
- [2] 山田晃嗣、伊藤史、藤井勝敏、窪田直樹、篠田義人、渡辺崇史、太田秀昭：「職業体験学習におけるタブレット端末等を活用した方法の提案」、ATAC カンファレンス京都 proceedings

pp52-53、ポスター発表, Dec. 2016

- [3] 山田晃嗣、上村数洋：「他職種連携によるタブレット端末を活用した職業体験学習支援の取り組み」日本リハビリテーション連携科学学会第 18 回大会プログラム・抄録集、一般講演 口述 pp42、Mar. 2017
- [4] 山田晃嗣：「特別支援学校の喫茶サービスにおけるタブレット端末を利用したシステムの活用」障がい児・者のタブレット活用セミナーにて口頭発表 ソフトピアジャパンセンタービル 10F 会議室 1、Mar. 2017
- [5] Hoshito Kudo, Tomoya Koizumi, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Behavior Model for Hearing-Dog Robot, International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2016), in USB Memory, Sapporo, Japan, August 25-28, 2016.
- [6] Gou Kayama, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Adobe Illustrator Plug-in to support Brush Selection using Onomatopoeia Utterance, International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2016), in USB Memory, Sapporo, Japan, August 25-28, 2016.
- [7] Daiki Sekiya, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Can a Robot Wake a Sleeping Person Up by Giving Him or Her a Nudge? ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction (HRI 2017), in USB Memory, Vienna, Austria, March 6-9, 2017.
- [8] 児玉涼次, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: DCGAN を用いたイラスト事例からの画風再現の試み, 第 42 回東海ファジィ研究会, P1-05, 2017.
- [9] 属増拓実, 村田健一, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 毛筆フォントリデザインシステムの UI の改善, 第 42 回東海ファジィ研究会, P1-08, 2017.
- [10] 吉田行宏, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットにおける LRF を用いた障害物可動判定の提案, 第 42 回東海ファジィ研究会, P2-08, 2017.
- [11] 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴を用いたオノマトペの用法分類に関する一調査, 第 42 回東海ファジィ研究会, P2-13, 2017.
- [12] 田中智, 工藤星人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣, 大岩大夢, 岩堀祐之, 福井真二: 聴導犬ロボットにおける熱情報を導入した人物検出手法の提案, 第 42 回東海ファジィ研究会, P3-11, 2017.
- [13] 関屋大樹, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットによる起床アラーム: 接触強度と接触周期に関する調査報告, ヒューマンエージェントインタラクションシンポジウム, 2016.

- [14] 関屋大樹, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットによる起床実験の報告, 第 32 回 ファジシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2016.
- [15] 村田健一, 中村剛士, 遠藤和也, 加納政芳, 山田晃嗣: 毛筆フォントの掠れ・しみデザインにおけるオノマトペの利用, 第 32 回 ファジシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2016.
- [16] 工藤星人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットの行動モデルの提案と設計, 第 41 回東海ファジ研究会, pp.21-22, 2016.
- [17] 桂山豪, 山田祐里, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペを用いた Adobe Illustrator のブラシ選択支援, 第 41 回東海ファジ研究会, pp.31-32, 2016.
- [18] 工藤星人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットにおける行動モデルの提案, 電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究会 (AI), 2016.
- [19] 山田祐里, 桂山豪, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペを用いた描画支援ツールの提案, 電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究会 (AI), 2016.
- [20] 村田健一, 中村剛士, 遠藤和也, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペ発話による毛筆フォントのデザインと編集, 第 30 回人工知能学会全国大会, 2J5-OS-08b-2, 2016.
- [21] 古橋道彦, 関屋大樹, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットの接触動作による起床アラーム, 第 30 回人工知能学会全国大会, 2N3-4, 2016.